

		<p>訪問先: 美幌町役場、峠の湯びほろ、北海設計(株)(木質バイオマス資源活用業務委託先)、及び美幌町森林組合</p> <p>審査内容: (1)本プロジェクトが、プロジェクト計画書及び同別紙モニタリング計画書並びにモニタリング報告書(Ver.1.1)記載の通り実施されているかの確認を現地視察、プロジェクト関係者へのインタビューにより実施。特に、モニタリング体制、計測機器及び計測データ等の確認状況、並びに QA/QC 体制について確認した。 (2)モニタリング報告書記載の算定結果を集計データによってチェックすると共に、その適格性(適用デフォルト値を含む)、計測器並びに計測データ等の確認記録について検証をおこなった。特に、 <ベースライン排出活動> 実績管理表による木質チップ使用量他 <プロジェクト排出活動> 木屑チップの消費量及び生産量、燃料(軽油)購入量、及び電力使用量他</p>				
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011 (~10/31)	2012
	t-CO2	—	—	—	77	—
検証結果の要約		<p>JACO CDMは、美幌町内の公共施設の中で、化石燃料を最も多く消費している公共の温泉施設「峠の湯びほろ」に木質チップボイラーを導入し(平成23年3月導入済)、二酸化炭素の削減を図るとともに地球温暖化対策の普及啓発を図ることを目的とする本プロジェクトにおいてモニタリング期間(2011年4月1日~2011年10月31日)における温室効果ガス排出削減量を検証した。</p> <p>検証の結果、本プロジェクトに関する「モニタリング報告書(Ver.1.1)」は、「モニタリング方法ガイドライン(排出削減プロジェクト用) Ver3.0」、及び方法論(E001「化石燃料から未利用の木質バイオマスへのボイラー燃料代替」Ver.6.0)に準拠していることを確認した。</p> <p>また、同報告書に記載された温室効果ガス排出削減量77t-CO₂は、プロジェクト計画書及びモニタリング計画書に基づいて算定されており、J-VER制度妥当性確認・検証ガイドラインVer2.0に規定する重要性の判断基準である5%以内であることを確認した。</p> <p>以上のことから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。</p>				

ⁱ 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。